

# 読み・書きを取り入れた授業実践—成果と課題—

神奈川県横須賀市立田戸小学校 英語専科教員(JTE) 羽田あずさ

Sat. 11. February 2017  
LEEP Conference at Tokyo

- 教科、行事、地域関連型カリキュラム
- 教科型、週2時間、年間70時間。
- 聞く・話す・読む・書くを統合的に扱う。

CEFR(Pre-A1)  
【読む】ごく身近にあるアルファベットの文字を認識し、発音する。  
【書く】目的をもってアルファベットの大文字・小文字を活字体で書く。

身近な生活からアルファベットを教材化

## 実践①第5学年「どうしてジェスチャーが必要なの？」

“How are you?”に対する返答を文字表現の始めの文字を見て推測する。

“How are you? ピンゴ”児童にとって「話す」活動でありながら、自然に「読む」活動を行うことになる。

コールドの初めの文字はコなのに、kじゃない。

医師は、患者の症状をジェスチャーから当て、処方箋にチェック印をつけ、患者に渡す。

ロールプレイで使う「処方箋」作り。  
レベル1：なぞる  
レベル2：1文字埋め  
レベル3：写す

### 書くこと

**成果1**  
相手意識、目的意識を持たせた書く活動で意欲持続！

**成果2**  
自ら選べる教材の工夫で意欲UP！

### 読むこと

**成果3**  
英語の音声で慣れ親しんだ表現や言葉は、文字認識が容易！

**成果4**  
フォニックスを意識した気づきにつながるしかけ・工夫で文字と音声との関係への関心UP

## 実践②第5学年「おすすめの季節と場所を紹介しよう」

“The 12 months”を歌わせながら、月カードを並べ替えさせる。

8月は「オ」の音で始まるのに、綴りは“A”で始まる

初めの文字が大文字になることに気付かせ、大文字を練習。

音楽やジェスチャーも取り入れて分かりやすくしよう

「おすすめポスター」作り  
地名・季節・月を今までのワークシートを参考にしながら書く。紹介したいもののイラストを描く。

Marianは甘いものとお祭りが好きだから・・・

「ビデオレター」作成  
ポスターを活用しながら、おすすめの季節と場所を紹介する。

## 実践③第6学年「ミッション in 日光」

“Where are you from?” “Where do you want to go?”  
音声での十分な慣れ親しみ後、  
①なぞり書き②文字補充③写し書きを選択させ、資料作成。

分かりやすいポスターにしたいな

ミッション①  
外国人旅行者の出身地を尋ねる。

どこを紹介しようかな

ミッション②  
国内おすすめの場所を3ヶ所紹介し、どこに行きたいか尋ねる。

## 実践④第6学年「道案内をしよう」

初めの文字は、推測しやすい。  
“city hall”は、“s”じゃなくて“c”で始まるんだ  
“sh”と同じ音は他にもある！

ランドマークの言い方と英語の言い方の違いにも気づかせ、単語の認識につなげる。

「マイ横須賀マップ」作り  
①なぞり②1文字補充③写し書きを選ばせ、好きなランドマークを配置。

友だちから尋ねられた場所を自分の地図で案内する。  
“Go straight. Turn left.”

- 課題①  
音声での慣れ親しませ方のヴァリエーションや工夫
- 課題②  
ローマ字指導や小学校段階で音と文字の関係性をどのように指導するか
- 課題③  
低学年から文字に触れる環境づくり

# 子どもたちの意欲を大切に「書くこと」の指導事例

～神奈川県横須賀市立田戸小学校 第5学年～

## 単元の目標

- 医者と患者のロールプレイにおいて、ジェスチャーを有効に用いコミュニケーションを図ることの大切さに気づくとともに、相手の気分や状態を尋ねたり、自分の気分や状態をいろいろな度合いで表現しようとする。
- 気持ちや状態を表す英語表記を認識したり、英語表記をなぞったり、文字を書き込んだり、写したりすることに慣れ親しむ。

## 指導の実際

対象学年：第5学年

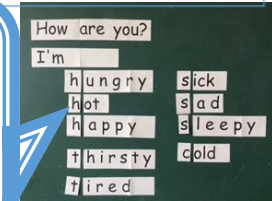
使用教材：絵カード・文字カード (How are you?/ I'm happy/ hungry/ sleepy/ sad/ tired/ thirsty/ angry/ sick/ hot/ cold), Hi, friends! 1 (Lesson2), ビンゴシート

### 第1時

目標：気持ちや状態を表す英語表記を認識することに慣れ親しむ。

- ① “How are you?”に対する返答を、文字表現の初めの文字を見て推測する。
- ② “very/ a little”などを用い、自分の気持ちを表現する言い方を知る。
- ③ “very/ a little”などを用い、自分の気持ちを表現する言い方に慣れ親しむ。

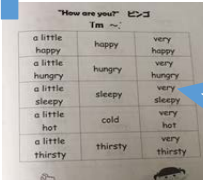
- ◆指導者は、音声での十分な慣れ親しみのある語彙を取り扱う。
- ◆児童は、初めの文字を見て英語表現を推測すること(その逆も)が容易にできる。



### 第5時

目標：度合いの違いで気持ちを表現することに慣れ親しみ、自分の気持ちを適切に表現する。

- ① ジェスチャーつき “How are you? ビンゴ” をする。
- ② 医者と患者のロールプレイの場面設定と会話の流れを知る。



- ◆児童にとって「話す」活動でありながら、自然に「読む」活動を行うことになる。

### 第6時

目標：気持ちを表す英語表現をなぞったり、アルファベットを書き込んだり、写したりすることに慣れ親しむ。

- ① ジェスチャー付き “How are you? ビンゴ” をする。
- ② 処方箋を作る。

- ◆「自分たちが作った処方箋をロールプレイで使う」ということが、児童の書く意欲を高めた。
- ◆3種類(なぞる、空欄補充、写す)のワークシートを用意し、児童が選択できるようにしたことも、書く意欲を高めた。



### 第8時

目標：ジェスチャーを効果的に用い、コミュニケーションを図ることの大切さに気づく。

- ① 医者と患者のロールプレイの流れを確認する。
- ② ロールプレイをする。
- ③ ジェスチャーの大切さについて考える。

- ◆医者は患者の症状を聞き取り、処方箋にチェック印をつけ、患者に渡す。

